



株式会社近藤鉄工所 様

事業内容：産業機械部品製造



代表取締役社長
近藤 弘幸 様

私と赤十字との出会い。当時お付き合いしていた方（現社長夫人）と買い物や食事で長岡市内を移動中に中越地震が発生しました。自宅に帰れなくなり長岡赤十字病院に一時避難させてもらい非常に助かったことを覚えています。また、むかし自分の家族が病気で長岡赤十字病院に入院した際に、医師や看護師の方にとってもお世話になったことがありました。赤十字の活動資金への支援は先代の時から協力していましたが、改めて命と健康を守る赤十字活動に私の代でもできる範囲の中で支援していきたいと思い継続しています。



株式会社新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ 様

事業内容：プロ野球チームの運営



代表取締役社長
池田 拓史 様

私たちは、持続可能な地域社会を創るために、社会性と公益性を柱とする球団運営を通じて、SDGsを推進しております。各種活動の1つとして「野球の力で全国各地の復興支援」を掲げて、東日本大震災以降12年間にわたって「復興支援ゲーム」やホームゲーム会場での各種募金活動等に取り組んで参りました。また、オフシーズンには宮城県にお伺いし、野球教室を通じた被災地の子どもたちとの交流活動を実施しております。私たちにできることを常に考えながら、これからも野球事業を通じて赤十字活動に寄与できるよう微力を尽くして参ります。



CONTENTS

12月号のテーマは「ボランティアの活動」です。県内各地のボランティアの活動により赤十字の輪が広がっています。



初めてのAED体験！

終活セミナー開催

令和4年10月4日（火）、新潟ユニゾンプラザにて赤十字終活セミナーを開催しました。新潟県司法書士会の田邊俊樹氏からは、「終活の基礎知識～自分のために、親族のために。いま考えておく、終活」と題して、相続、遺言についてお話いただきました。また、昨年度に引き続き、三遊亭白鳥師匠をお招きし、生前整理等の終活について実体験を交えつつ楽しくご講演いただきました。

参加者は100名定員のところ満員御礼となり、有功会員を含む多くの方々からご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。



三遊亭白鳥師匠 サイン色紙プレゼント(3名様)

プレゼントをご希望の方は「①お名前②郵便番号・ご住所③電話番号④本誌を手にされた場所・きっかけ」を明記のうえ郵送・FAX・WEBのいずれかでご応募ください。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。 ※1月31日（火）必着

●郵送／〒951-8143 新潟市中央区関屋恵町11-55 NTT東日本関屋恵町ビル2階 日本赤十字社新潟県支部 日赤にいがたNEWS サイン色紙プレゼント係

●FAX／025-231-3122

●WEB／2次元コードからご応募ください >>>>>>>>

※いただいた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用いたします



日本赤十字社の活動はボランティアのみなさまによって支えられています。
赤十字事業に興味がある・ボランティアに参加したいという方はぜひお問合せください。



日本赤十字社 新潟県支部
Japanese Red Cross Society

〒951-8143 新潟市中央区関屋恵町11-55 NTT東日本関屋恵町ビル2階
TEL 025-231-3121 FAX 025-231-3122
E-mail humanity@niigata.jrc.or.jp https://www.jrc.or.jp/chapter/niigata/





ボランティアの活動で 地域に広がる赤十字の輪

各地域で活躍する
ボランティアの活動
を紹介します

新潟市西区

1日赤十字デー

10月29日(土)、新潟市西区のみどり森の運動公園にて「西区ふれあい・あきまつり2022」が開催され、赤十字安全奉仕団新潟市分団は日赤県支部のブースにてAED体験、ストラックアウト、輪投げ、ぬり絵の各コーナーの運営に協力しました。どのコーナーも盛況で、AEDも多くの方に体験いただきました。



新潟市秋葉区

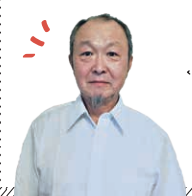
防災・減災学習会

9月1日(木)の防災の日に、青少年赤十字加盟園のさくらこども園の園児を対象に「防災・減災学習会」を開催しました。防災〇×クイズに挑戦してもらいながら楽しく防災・減災について学んだり、身近にある新聞紙を使って「スリッパ作り」も体験してもらいました。



当分団は、日本赤十字社が行う赤十字活動の一つ「講習普及活動」をお手伝いしている赤十字ボランティアの団体です。救急法などの資格保有者で構成されており、定期的に研修会を実施し日々知識を高めています。

赤十字安全奉仕団新潟市分団・委員長・齋藤和浩さん



子どもたちの反応は的確で、幼少から学ぶ「生きる防災教育」の重要性を感じました。この体験をご家族に話すことで、家庭での防災意識の高まりに伝播していくことを期待したいです。今後は親子で学ぶ機会もあると思います。

指導講師／小松茂夫さん

長岡市

すこやか・ともしびまつり2022

9月17日(土)、アオーレ長岡で開催された「すこやか・ともしびまつり2022」にて、災害用移動式炊飯器を使用した炊き出しの実演と、お子様向けの体験イベントを行いました。当日は、実演で作ったおにぎり約400個を来場者に配布しながら、赤十字奉仕団のPRを行いました。



新型コロナウイルスの影響で、3年ぶりの参加となりました。久しぶりの炊き出しの実演ということもあり、反省点もありましたが、参加した団員みんな楽しんで活動することができました。たくさんの来場者へおにぎりの配布や、炊き出し体験に参加してもらうことができ、よかったです。

長岡市赤十字奉仕団長岡分団・委員長・大原良子さん

柏崎市

柏崎潮風マラソン2022

5月15日(日)、本来全国のランナーが出場する柏崎潮風マラソンですが、コロナ禍のため県内のみに絞られ開催されました。救護ボランティアを引き受けた柏崎市分団は、各給水所で感染防止対策のリーダー役となり、安全な運営に協力しました。



3年ぶりとなる「潮風マラソン」救護は、東京マラソン救護経験団員を中心に身支度や細かい行動を確認し合って臨みました。結果、感染はゼロ!地元の一大イベントを支えられた喜びは大きいです。

赤十字安全奉仕団柏崎市分団のみなさん

下越地区の大雨災害に対する活動報告

令和4年8月3日(水)からの記録的大雨により、下越地区では大きな被害に見舞われました。このたびの災害で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。



日本赤十字社新潟県支部では、8月4日より現地情報連絡員を村上市・胎内市・関川村へ、8月5日より関川村に救護班を派遣し、被災者の救護活動を行いました。また、赤十字ボランティアは被災された方へ必要物品のお届けや活動中のボランティアに熱中症予防の呼びかけをするなど支援活動を行いました。



大雨による被害の様子



大雨により線路が冠水



土砂崩れにより道路が寸断



集落にも流れ込む土砂

救護班による巡回



医療、保健衛生活動に必要な情報収集のため、救護班は保健師と共に関川村の被災集落を巡回し、被災者の心身の状態や生活環境等の聞き取りを行うとともに、熱中症や感染対策の注意喚起を行いました。

赤十字ボランティアによる活動



村上市赤十字奉仕団・同神林地区赤十字奉仕団が炊き出しを行い、被災された方々にお弁当を配りました。また、新潟県赤十字安全奉仕団員が被災者宅を訪問し、物資のお届けやボランティアセンターの運営支援等を行いました。

皆様のご寄付が唯一の活動財源です。

日本赤十字社は公平で中立な活動が求められるため、国や県から補助を受けることなく県民の皆様からのご寄付のみで活動を展開しております。今後もいのちを救うための赤十字活動が行えるよう、皆様からの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

